

2020年3月27日
株式会社みずほ銀行

シンジケーション方式による「Mizuho Eco Finance」の契約締結について

株式会社みずほ銀行（頭取：藤原 弘治）は、本日、日立キャピタル株式会社（執行役社長兼CEO：川部 誠治、以下「日立キャピタル」）が調達を計画するシンジケーション方式による「Mizuho Eco Finance」（※）のアレンジャーに就任し、契約を締結しました。

「Mizuho Eco Finance」は、脱炭素社会への移行に向けて、お客さまとともに取り組みを促進していくことを目的に、グローバルに信頼性の高い環境認定や評価等を組み入れた、みずほ情報総研株式会社が開発した環境評価モデルを用いて、お客さまの取り組みや指数をスコアリングし、一定のスコア以上を満たしたお客さまに対し融資を行う環境評価融資商品です。

気候変動への対応の重要性が高まるなか、本件は「Mizuho Eco Finance」をシンジケーション方式で組成することで、当該取り組みに賛同する参加金融機関とともに、日立キャピタルの気候変動への取り組みをファイナンス面から支援します。

〈みずほ〉は、日立キャピタルが2019年7月にTCFDに賛同していること、サプライチェーン全体でのCO2排出量を開示していること、グループ全体による2050年度までの事業活動の脱炭素化を目標に掲げていること等を評価します。

また、日立キャピタルは、みずほ情報総研が2017年度に環境省から受託した業務における「サプライチェーン排出量の算定」および「Science Based Targets（以下、SBT）策定」事業に参加しました。みずほ情報総研は、その事業を通じて日立キャピタルのサプライチェーン全体のCO2排出量の算出やSBT水準の目標の把握、目標達成に必要なCO2削減への取り組みの検討を支援しました。

〈みずほ〉は、サステナビリティへの取り組みについて戦略との一体性を高め、グループ全体で推進しています。総合金融グループとして知見を活かし、脱炭素化を推進する事業への助言や資金調達支援をはじめ、多様なソリューションの提供に積極的に取り組んでいきます。

※ 「Mizuho Eco Finance」
2019年6月28日付プレスリリース「『Mizuho Eco Finance』の取扱開始について」
https://www.mizuho.bank.co.jp/release/pdf/20190628release_jp.pdf

<案件概要>

融 資 先：日立キャピタル株式会社
アレンジャー行：株式会社みずほ銀行、株式会社三菱UFJ銀行、株式会社三井住友銀行
貸 付 人：国内金融機関
契 約 締 結 日：2020年3月27日
実 行 日：2020年3月31日（予定）